



新規就農先輩の軌跡 No.12

新規就農者の素顔	農業経営の状況（現在）
 <p>氏名：大崎 直也 住所：南あわじ市八木国分 年齢：48歳</p>	<p>農地：170a（借地170a） 施設：ビニールハウス140㎡ （育苗用ハウス）</p> <p>経営内容： ・レタス 220a（マルチ2作収穫） ・キャベツ 30a ・たまねぎ 10a</p> <p>労働力：本人、妻 出荷先：JA</p>  <p>レタス苗の水管</p>
就農から現在まで	就農で良かった点、苦労した点
<p>2005年 離職 2005年 埼玉県農業大学校で6ヶ月間農業研修 2006年 就農 2008年 認定農業者 2009年 エコファーマー認定 2010年 現在に至る</p>	<p>○良かった点 自分のやりたかった事を仕事として、できる幸せ。 自分が社長、経営者。 農作業という作品を自分で作ることができ、それを評価してもらえる。</p> <p>○苦労した点 夏のあぜ草刈りは大変。 天気にもいろいろと左右される。</p>
農業をめざした動機	後輩へ贈る言葉
<p>1998年から家庭菜園を始めた。野菜畑5aと水田10aだったが、将来は農村に住みたいと思っていた。 2004年末に、仕事のストレスで体調を悪くしたので、以前からの夢であった農家になることに決めて退社した。 2005年には、埼玉県農業大学校で学びながら、就職先を探して全国を回り、南淡路の農業に魅了された。</p>	<p>1～2年は収入が無くても生活できるお金を持っておく。 農業は、アルバイトしながらなんて無理です。 体の無理を利かすことができる年齢で、就農しないときつい。体力入ります。 野菜のこと、土と微生物のこと、肥料のことなど、ものすごく勉強して下さい</p>